
臨牀 消化器内科

第 1 巻～第 40 巻●特集一覧

Vol. 1～Vol. 40

(1986 年～2025 年)

Vol. 1(1986)

- No. 1 胃潰瘍の診断
- No. 2 大腸進行癌
- No. 3 慢性肝炎の治療
- No. 4 食道静脈瘤
- No. 5 急性腹症
- No. 6 膵癌
- No. 7 早期胃癌—診断を中心に
- No. 8 抗生物質起因性大腸炎
- No. 9 胆道癌
- No. 10 十二指腸潰瘍の診断と治療
- No. 11 便秘と下痢
- No. 12 肝硬変

Vol. 2(1987)

- No. 1 慢性胃炎〔特大号〕
- No. 2 潰瘍性大腸炎
- No. 3 肝内胆汁うっ滞
- No. 4 食道癌
- No. 5 Endoscopic Surgery
- No. 6 肝不全の成因と治療
- No. 7 クロウン病とその周辺〔特大号〕
- No. 8 悪性リンパ腫
- No. 9 胆石症
- No. 10 胃粘膜防御機構
- No. 11 大腸ポリープとポリポーシス
- No. 12 肝癌

Vol. 3(1988)

- No. 1 進行胃癌〔特大号〕
- No. 2 消化吸収障害
- No. 3 急性膵炎
- No. 4 吐血と下血
- No. 5 消化管憩室
- No. 6 肝と免疫
- No. 7 胃潰瘍の治療〔特大号〕
- No. 8 虚血性大腸炎
- No. 9 胆道感染症

- No. 10 急性胃粘膜病変
- No. 11 早期大腸癌
- No. 12 アルコール性肝障害

Vol. 4(1989)

- No. 1 慢性膵炎〔特大号〕
- No. 2 消化管の運動異常
- No. 3 消化器関連の症候群
- No. 4 B 型肝炎
- No. 5 電子スコープの現状
- No. 6 肝疾患—診療のチェックポイント【増刊号】
- No. 7 イレウス
- No. 8 肝・胆の症候群〔特大号〕
- No. 9 消化管と免疫
- No. 10 消化管穿孔
- No. 11 薬物と肝
- No. 12 消化器癌の化学療法
- No. 13 炎症性腸疾患

Vol. 5(1990)

- No. 1 胃手術後の病変とその対策〔特大号〕
- No. 2 抗ウイルス療法
- No. 3 消化器癌の腫瘍マーカー
- No. 4 食道の炎症
- No. 5 消化管の奇形と先天異常
- No. 6 黄疸
- No. 7 消化性潰瘍—診療のポイント【増刊号】
- No. 8 *Campylobacter pylori*〔特大号〕
- No. 9 腸管手術後の病変とその対策
- No. 10 非 A 非 B 型肝炎
- No. 11 消化管カルチノイド
- No. 12 全身疾患と消化管病変
- No. 13 胆汁酸

Vol. 6(1991)

- No. 1 内視鏡的食道静脈瘤硬化療法〔特大号〕
- No. 2 胃癌の治療—最近の話題
- No. 3 転移性肝癌

- No. 4 加齢と消化管
- No. 5 MRSA 腸炎
- No. 6 膵癌の臨床—最近の進歩
- No. 7 炎症性腸疾患—診療のポイント【増刊号】
- No. 8 胃の隆起性病変〔特大号〕
- No. 9 消化器と prostaglandin
- No. 10 胆石の非観血的治療
- No. 11 薬剤による消化管病変
- No. 12 消化管ホルモン—最近の話題
- No. 13 術後の肝障害〔特大号〕

Vol. 7(1992)

- No. 1 消化器疾患とエンドトキシン〔特大号〕
- No. 2 色素内視鏡検査
- No. 3 陥凹型早期大腸癌
- No. 4 細小肝癌
- No. 5 消化器と寄生虫
- No. 6 Non-ulcer Dyspepsia
- No. 7 消化器癌の集学的治療【増刊号】
- No. 8 原発性胆汁性肝硬変
- No. 9 重症膵炎の治療
- No. 10 早期食道癌
- No. 11 消化器と Epidermal Growth Factor
- No. 12 C 型肝炎〔特大号〕
- No. 13 小腸の潰瘍性病変

Vol. 8(1993)

- No. 1 H^+ ポンプ阻害薬とヒスタミン H_2 受容体拮抗薬〔特大号〕
- No. 2 消化器病の手術をめぐる controversy
- No. 3 急性肝不全〔特大号〕
- No. 4 *Helicobacter pylori*—最近の話題
- No. 5 消化管癌の内視鏡治療の限界
- No. 6 肝内結石症
- No. 7 肝疾患の薬物療法【増刊号】
- No. 8 ストレスと消化器〔特大号〕
- No. 9 微小胃癌〔特大号〕
- No. 10 膵・胆管合流異常と胆管拡張症
- No. 11 腹部急性症
- No. 12 肝硬変—成因と治療
- No. 13 肛門病変

Vol. 9(1994)

- No. 1 胃炎をめぐる—シドニー分類とその登場まで〔特大号〕
- No. 2 Laparoscopic Surgery 腹腔鏡下手術
- No. 3 消化管の集団検診
- No. 4 回盲部病変
- No. 5 ウイルス肝炎—最近の話題
- No. 6 スキルス胃癌

- No. 7 消化性潰瘍—最新の知見 1994【増刊号】
- No. 8 知っておくべき疾患—胃〔特大号〕
- No. 9 食中毒・細菌性腸炎
- No. 10 胆嚢癌—解剖学ならびに進展様式の特徴と診療の現況
- No. 11 食道炎—逆流性食道炎を中心に
- No. 12 知っておくべき疾患—小大腸
- No. 13 自己免疫性肝炎

Vol. 10(1995)

- No. 1 早期胃癌—診療の現況〔創刊 10 年記念特大号〕
- No. 2 小腸腫瘍
- No. 3 インターフェロン—問題点と展望
- No. 4 消化管の血管病変
- No. 5 胃・食道静脈瘤
- No. 6 消化器疾患と活性酸素・フリーラジカル
- No. 7 膵疾患の臨床—最近の進歩 1995【増刊号】
- No. 8 アルコールと肝
- No. 9 腹膜疾患
- No. 10 消化器癌と遺伝子
- No. 11 腸の潰瘍性病変—最近の話題
- No. 12 消化器癌の悪性度評価
- No. 13 肝細胞癌—最近の治療

Vol. 11(1996)

- No. 1 *Helicobacter pylori* と胃病変〔特大号〕
- No. 2 十二指腸の炎症
- No. 3 知っておくべき疾患—肝
- No. 4 消化器病患者の栄養管理
- No. 5 大腸ポリープ—最新の戦略
- No. 6 胆嚢の隆起性病変
- No. 7 消化器の超音波診断【増刊号】
- No. 8 安全な内視鏡検査のために—上部消化管
- No. 9 肝・胆・膵疾患の診断基準, 病型分類, 重症度分類
- No. 10 GERD—Gastroesophageal Reflux Disease
- No. 11 安全な内視鏡検査のために—下部消化管
- No. 12 内科医に必要な小児消化器疾患
- No. 13 肝膿瘍

Vol. 12(1997)

- No. 1 下部消化管の出血性病変〔特大号〕
- No. 2 高齢者と消化管
- No. 3 腹腔鏡下手術の Pitfall
- No. 4 十二指腸の腫瘍
- No. 5 肝炎ウイルス—最近の話題
- No. 6 分子生物学と消化管
- No. 7 電子スコープ—新しい展開【増刊号】
- No. 8 漢方医学—消化管治療学の新しい展開
- No. 9 膵内分泌腫瘍
- No. 10 潰瘍性大腸炎の治療の最先端

- No. 11 肝疾患の予後
- No. 12 早期食道癌—病型分類と深達度から
- No. 13 残胃の癌

Vol. 13(1998)

- No. 1 クロウン病の治療〔特大号〕
- No. 2 原発性硬化性胆管炎(PSC)
- No. 3 悪性リンパ腫
- No. 4 知っておくべき疾患—食道
- No. 5 慢性膵炎—新しい診断基準をめぐって
- No. 6 消化器の前癌病変
- No. 7 消化器癌関連遺伝子の臨床—現状と展望【増刊号】
- No. 8 安全な内視鏡的粘膜切除術
- No. 9 胃の炎症
- No. 10 肝癌—発癌のメカニズムと予防
- No. 11 知っておくべき疾患—胆・膵
- No. 12 心身症と消化器疾患
- No. 13 消化管治療薬の使い方—その根拠と問題点

Vol. 14(1999)

- No. 1 大腸内視鏡の挿入法〔特大号〕
- No. 2 消化器癌の鏡視下治療
- No. 3 C型肝炎ウイルスの肝外症状
- No. 4 NSAID と消化管
- No. 5 超音波内視鏡の基本
- No. 6 消化器疾患と NO
- No. 7 肝癌—診療の進歩【増刊号】
- No. 8 レーザー内視鏡の理論と実際—21 世紀消化器内視鏡学への提言〔特大号〕
- No. 9 超音波内視鏡の新展開
- No. 10 B型肝炎—最近の知見
- No. 11 虫垂疾患とその周辺
- No. 12 薬物治療をめぐる Controversy—上部消化管
- No. 13 消化器疾患と皮膚病変

Vol. 15(2000)

- No. 1 消化器疾患と QOL〔特大号〕
- No. 2 脂肪肝をめぐる最近の話題
- No. 3 消化管と免疫—最近の話題
- No. 4 消化管機能と受容体—臨床とのかかわり
- No. 5 門脈圧亢進症
- No. 6 消化器疾患に対するステント治療
- No. 7 食道疾患の臨床—最近の進歩【増刊号】
- No. 8 直腸・肛門の良性病変
- No. 9 知っておくべき疾患—十二指腸
- No. 10 MALT リンパ腫
- No. 11 肝炎のインターフェロン治療—総まとめ
- No. 12 大腸癌—最新の進行大腸癌治療戦略
- No. 13 過敏性腸症候群

Vol. 16(2001)

- No. 1 膵疾患の画像診断〔特大号〕
- No. 2 最新の大腸内視鏡と挿入法の進歩
- No. 3 消化管粘膜下腫瘍—診断の進歩と治療方針
- No. 4 感染症と肝
- No. 5 消化器悪性腫瘍に対する化学療法
- No. 6 *Helicobacter pylori* 除菌をめざして
- No. 7 消化器疾患の分子医学【増刊号】
- No. 8 重症膵炎の臨床—重症化の予知と治療戦略
- No. 9 総胆管結石に対する最新の治療戦略
- No. 10 重症潰瘍性大腸炎に対する最新の戦略
- No. 11 *Helicobacter pylori* 感染の内視鏡診断
- No. 12 早期消化管癌に対する EMR
—適応拡大をめぐる問題
- No. 13 消化器疾患と移植医療

Vol. 17(2002)

- No. 1 肝の画像診断〔特大号〕
- No. 2 PPI の長期投与
- No. 3 膵嚢胞性疾患の取り扱い
- No. 4 食道胃接合部の病変—診断と治療方針を中心に
- No. 5 消化器疾患におけるクリニカルパス
- No. 6 Virtual Endoscopy—現状と展望
- No. 7 肝疾患—診療のチェックポイント 2002【増刊号】
- No. 8 内視鏡の偶発症とその対策〔特大号〕
- No. 9 肝癌診療の Controversy
- No. 10 膵・胆管合流異常—最近の話題
- No. 11 ペプシノゲン—基礎・臨床応用・疫学
- No. 12 虚血性腸炎—最近の知見
- No. 13 消化管機能検査—最近の進歩

Vol. 18(2003)

- No. 1 食習慣と消化器疾患〔特大号〕
- No. 2 胃癌治療ガイドラインをめぐる諸問題
- No. 3 早期大腸癌—最近の話題
- No. 4 Non-ulcer Dyspepsia の診断・治療
- No. 5 原発性胆汁性肝硬変—最近の話題
- No. 6 消化器疾患の腹腔鏡下治療—適応と限界
- No. 7 炎症性腸疾患：最近の研究の進歩—難治性炎症性腸管障害に関する調査研究を中心に【増刊号】
- No. 8 胆道癌診断の現状と展望—胆尿管を中心に〔特大号〕
- No. 9 NASH(非アルコール性脂肪性肝炎)
- No. 10 Neurogastroenterology の幕開け
- No. 11 食道癌治療—最近の話題
- No. 12 C型肝炎—最新の治療
- No. 13 消化器領域における自己免疫性疾患

Vol. 19(2004)

- No. 1 消化器癌の緩和医療〔特大号〕

- No. 2 胃潰瘍診療ガイドラインをめぐって〔特大号〕
- No. 3 胃癌のリスクファクター
- No. 4 大腸ポリープの臨床的取扱い
- No. 5 *H. pylori* 陰性上部消化管疾患
—21 世紀の疾病構造の推移を念頭に
- No. 6 いわゆる“慢性胃炎”の適正化へ向けて
- No. 7 胃癌治療 update【増刊号】
- No. 8 感染性腸炎
- No. 9 イレウス診療の pitfall—いつ外科に送るか
- No. 10 上部消化管での内視鏡的治療の現況と問題点
- No. 11 B 型肝炎 update2004
- No. 12 逆流性食道炎をめぐる新しい流れ
- No. 13 消化器疾患と食事

Vol. 20(2005)

- No. 1 *Helicobacter pylori* update〔特大号〕
- No. 2 消化器癌の遠隔転移をどうするか
- No. 3 消化器疾患とサイトカイン—病態の制御に向けて
- No. 4 肝と酸化ストレス
- No. 5 緊急内視鏡検査と治療
- No. 6 小児の腹痛とその処置—最新の捉え方
- No. 7 胆道疾患の臨床—最近の進歩【増刊号】
- No. 8 PPI・H₂ RA の使い分け
- No. 9 GIST(gastrointestinal stromal tumor)
- No. 10 直腸・肛門病変をめぐる諸問題
- No. 11 EUS による診断と治療—現状と将来展望〔特大号〕
- No. 12 生体肝移植をめぐる諸問題
- No. 13 大腸の治療内視鏡—最近の進歩

Vol. 21(2006)

- No. 1 内視鏡の新しい展開—照明光の特性と内視鏡〔特大号〕
- No. 2 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMT ; intraductal papillary mucinous tumor)
- No. 3 消化器がんに対する放射線治療
- No. 4 拡大内視鏡の現況と問題点
- No. 5 E 型肝炎—最新の知見
- No. 6 消化器癌の予防医学
- No. 7 肝癌の診療—最新の進歩【増刊号】
- No. 8 *H. pylori* 陰性胃癌の成因を探る
- No. 9 内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) のトレーニングとリスクマネジメント〔特大号〕
- No. 10 神経内分泌細胞腫瘍
- No. 11 経皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG) の実際
- No. 12 非 B 非 C 型肝炎
- No. 13 膵癌早期診断のストラテジー

Vol. 22(2007)

- No. 1 Barrett 食道〔特大号〕
- No. 2 消化器がんの疼痛管理

- No. 3 小腸内視鏡の update
- No. 4 肝炎のインターフェロン治療—総まとめ up to date〔特大号〕
- No. 5 門脈圧亢進症の診断と治療
- No. 6 胆膵疾患に対する診断, 内視鏡的治療法の進歩
- No. 7 消化器の炎症からの腫瘍【増刊号】
- No. 8 センチネルリンパ節理論の消化器癌への応用
- No. 9 細菌と消化器疾患—病因, 病態とその制御に向けて
- No. 10 消化器臨床医のための病理学—特殊染色を含めて
- No. 11 NASH—最新の知見
- No. 12 炎症性腸疾患における AZA/6-MP の役割
- No. 13 高齢者における消化器疾患—低侵襲治療を中心に

Vol. 23(2008)

- No. 1 EMR vs. ESD〔特大号〕
- No. 2 大腸癌のスクリーニング検査の現状〔特大号〕
- No. 3 胃癌スクリーニングの現況とハイリスクストラテジー
- No. 4 鏡視下手術時代の消化器手術適応
- No. 5 炎症性腸疾患治療の up to date
- No. 6 肝疾患の栄養療法
- No. 7 食道疾患の臨床 update【増刊号】
- No. 8 膵疾患に対する内視鏡的診断・治療の最前線
- No. 9 遺伝性大腸疾患の最近の話題
- No. 10 膵炎診療をめぐる最近の動向—ガイドライン, 診断基準を含めて
- No. 11 大腸 pit pattern
- No. 12 消化器癌化学予防の現況
- No. 13 急性肝不全と再生医療

Vol. 24(2009)

- No. 1 新しい内視鏡観察法の分類—画像強調観察を中心に〔特大号〕
- No. 2 消化器疾患の分子医学—基礎医学から臨床へ
- No. 3 消化器がんにおける PET 診断 update
- No. 4 胃癌予防とリスクファクター
- No. 5 GERD の臨床—最近の進歩
- No. 6 B 型肝炎—病態解明と治療の最前線〔特大号〕
- No. 7 他領域疾患と消化管疾患【増刊号】
- No. 8 消化管出血—最近の話題
- No. 9 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)
- No. 10 色素内視鏡を見直す—画像強調観察法との比較
- No. 11 胃切除後の諸問題
- No. 12 機能的消化器疾患へのアプローチ
—病態理解からの確な診療へ
- No. 13 薬物性腸粘膜障害

Vol. 25(2010)

- No. 1 肛門にまつわる諸問題〔特大号〕
- No. 2 内視鏡時の穿孔と対応

- No. 3 食道・胃の前癌病変，高発癌状態をめぐって
- No. 4 肝癌診療のアルゴリズム〔特大号〕
- No. 5 血管の異常をきたす消化管疾患
- No. 6 GIST—診断・治療の進歩
- No. 7 消化器疾患の画像診断〔放射線・MRI・超音波〕—スタンダードから，新しい診断技術【増刊号】
- No. 8 拡大内視鏡はどこまで必要か？
- No. 9 自己免疫性膵炎
- No. 10 下部消化管の前癌病変，高発癌状態をめぐって
- No. 11 急性肝障害—薬物性肝障害とウイルス肝炎
- No. 12 胆道疾患の診断・治療の進歩
- No. 13 消化性潰瘍診療ガイドラインを臨床にどのように生かすか

Vol. 26(2011)

- No. 1 膵癌 up-to-date〔特大号〕
- No. 2 メタボリックシンドロームと大腸癌
- No. 3 ESD・NOTES の将来展望—消化器内視鏡治療の最前線
- No. 4 転移性肝癌—多様化する治療
- No. 5 膵・胆道の良性～低悪性度病変
- No. 6 消化器癌化学療法 2011—最近の話題
- No. 7 消化管感染症の現況—最近の知見，診断のポイント【増刊号】
- No. 8 潰瘍性大腸炎—長期経過観察例の諸問題
- No. 9 腹部超音波検査 up-to-date〔特大号〕
- No. 10 食道癌の治療戦略
- No. 11 肝と免疫
- No. 12 内視鏡で遭遇する大腸隆起型および表面型病変を見直す
- No. 13 肝門部～肝内胆管癌

Vol. 27(2012)

- No. 1 IBD の最近の治療〔特大号〕
- No. 2 門脈圧亢進症の治療 update
- No. 3 *H. pylori* 胃炎からの発癌—除菌有効性を巡っての視点
- No. 4 胆道・膵のドレナージとステント
- No. 5 非 B 非 C 型肝炎—最近の知見
- No. 6 患者に優しい内視鏡—経鼻内視鏡とカプセル内視鏡
- No. 7 消化器救急疾患—的確に診断するために【増刊号】
- No. 8 下部消化管粘膜下腫瘍の診断と治療
- No. 9 スキルス胃癌—診断・治療の現状と今後〔特大号〕
- No. 10 内視鏡検査・治療時の管理は？
- No. 11 C 型肝炎治療の最前線
- No. 12 消化器内視鏡トレーニングのあり方
- No. 13 消化管リンパ腫—最近の知見

Vol. 28(2013)

- No. 1 消化器神経内分泌腫瘍〔特大号〕

- No. 2 消化管疾患に対する漢方医学からのアプローチ—現状と展望
- No. 3 消化器癌化学療法—新たなエビデンスを求めて
- No. 4 NASH—病態と治療〔特大号〕
- No. 5 IBD と合併症
- No. 6 栄養代謝制御における消化管生理活性ペプチドの役割
- No. 7 小腸疾患の臨床—最近の進歩【増刊号】
- No. 8 胃癌リスク診断を巡って—現状と問題点
- No. 9 肝移植—現状と展望
- No. 10 PEG の現状
- No. 11 下部直腸・肛門部疾患の診断と治療
- No. 12 肥満と消化器疾患
- No. 13 Diagnostic and Interventional EUS—現状と将来展望

Vol. 29(2014)

- No. 1 抗血栓薬と消化器内視鏡の新しいガイドライン—正しい理解・適切な運用のために
- No. 2 “大腸腫瘍”内視鏡の治療の最前線〔特大号〕
- No. 3 ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎を診る，治す
- No. 4 肝硬変—診断と治療の進歩
- No. 5 慢性膵炎—新しい概念と診断・治療の展開
- No. 6 Barrett 食道の診断と治療—up-to-date〔特大号〕
- No. 7 C 型肝炎のすべて【増刊号】
- No. 8 消化器疾患診療支援のための栄養療法の最先端
- No. 9 悪性胆道狭窄に対する診断・治療の進歩
- No. 10 CT colonography の現状と将来
- No. 11 PSC と PBC—診断と治療の進歩
- No. 12 十二指腸腫瘍性病変に対する診療の進歩
- No. 13 膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の診療の現況

Vol. 30(2015)

- No. 1 消化器診療—30 年と今後の展望(創刊 30 周年記念号)〔特大号〕
- No. 2 機能的消化管疾患—病態の解明と新たな治療〔特大号〕
- No. 3 小児の消化器内視鏡診療
- No. 4 超高齢者の消化器疾患—その特徴と治療上の注意
- No. 5 消化器内視鏡診療における適切な鎮静法—新ガイドラインの正しい理解・運用のために
- No. 6 胃癌に対する ESD/EMR ガイドライン—正しい理解・運用のために
- No. 7 胃癌の診療【増刊号】
- No. 8 進行肝細胞癌の治療戦略
- No. 9 大腸 LST(側方発育型腫瘍)の新展開
- No. 10 急性胆道炎—TG13: Updated Tokyo Guidelines に基づいた診療の現況
- No. 11 消化器癌予防 up-to-date
- No. 12 LECS の新たな展開
- No. 13 カプセル内視鏡の現況と最新動向

Vol. 31 (2016)

- No. 1 大腸ESD/EMRガイドラインの正しい運用のために
- No. 2 有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン
—内視鏡検診時代の新たな幕開け〔特大号〕
- No. 3 B型肝炎—根絶に向けて
- No. 4 消化管憩室の最近の話題
- No. 5 急性膵炎—診療ガイドラインの改訂を受けて
- No. 6 IBD治療のcritical point—私ならこうする〔特大号〕
- No. 7 消化器がん化学療法 2016【増刊号】
- No. 8 悪性消化管狭窄に対する最新マネージメント
- No. 9 臨床に必要な消化管による食欲調節の知識
- No. 10 消化器内視鏡の技術革新—開発秘話と次世代内視鏡
医療の構築に向けて
- No. 11 インターフェロン・フリーC型肝炎治療
- No. 12 大腸内視鏡のリスクマネージメント
- No. 13 いわゆる“早期の膵癌”—その発生機序と診断

Vol. 32 (2017)

- No. 1 胆管結石の治療〔特大号〕
- No. 2 胃酸分泌抑制療法—その歴史の変遷と現状、今後の
課題
- No. 3 消化管出血に対する診療—JGESガイドラインをふ
まえて
- No. 4 ESD手技の標準化に向けて〔特大号〕
- No. 5 肝疾患と栄養・サルコペニア
- No. 6 高齢者・超高齢者消化管癌の内視鏡治療
- No. 7 大腸癌の診療【増刊号】
- No. 8 胆膵EUSの進歩
- No. 9 食道癌診療の進歩—現状と課題
- No. 10 腸内細菌と臨床
- No. 11 ピロリ菌陰性者にみられる胃疾患の診かた
—胃癌を中心に
- No. 12 内視鏡検診の実態と今後の課題
- No. 13 消化器癌の拡大内視鏡診断

Vol. 33 (2018)

- No. 1 NASH 2018〔特大号〕
- No. 2 自己免疫性膵炎(AIP)
- No. 3 GERD診療 2018—現状と課題
- No. 4 慢性便秘—新たな分類と病態・診断・治療
- No. 5 緊急内視鏡の適応と実際
- No. 6 ガイドラインに基づいた肝癌診療
- No. 7 膵癌 update【増刊号】
- No. 8 大腸腫瘍治療後のサーベイランス
- No. 9 膵神経内分泌腫瘍 update
- No. 10 十二指腸上皮性非乳頭部腫瘍の診療を巡って
—現状と課題
- No. 11 消化器病漢方治療—理論と実践
- No. 12 消化管粘膜下腫瘍(SMT)の診療〔特大号〕
- No. 13 肝線維化—診断を超えて

Vol. 34 (2019)

- No. 1 血流障害と消化管疾患
- No. 2 胆嚢癌診療の現況
- No. 3 CT colonography 2019—今日までの進歩と現状、
そして大腸がん検診への展開
- No. 4 肥満と消化器
- No. 5 肝と免疫 2019
- No. 6 リンチ症候群と遺伝性消化管ポリポーシス
- No. 7 炎症性腸疾患診療の update—診断・治療の最新知見
【増刊号】
- No. 8 腹膜炎・腹水に対する診療の進歩
- No. 9 大腸ポリリープ取り扱いの Up to Date
- No. 10 消化器ステント留置
- No. 11 胃癌診療 2019—現状と課題
- No. 12 遭遇の機会が増えた IPMN/膵嚢胞—現状と課題
- No. 13 慢性胃炎を再考する

Vol. 35 (2020)

- No. 1 ガイドラインに基づいた内視鏡診療
- No. 2 B型肝炎 Trends & Topics
- No. 3 大腸ESDの工夫
- No. 4 膵・胆管合流異常と先天性胆道拡張症
- No. 5 消化器領域における免疫チェックポイント阻害薬の
現状・今後の展望
- No. 6 消化管疾患のER—診断と治療のポイント
- No. 7 薬剤性消化器疾患の診療
- No. 8 薬物療法がひらく新しい肝細胞癌の治療 strategy
- No. 9 これ一冊ですべてわかる 消化器超音波検査【増刊号】
- No. 10 分子標的時代のIBD診療—IBDの寛解導入、寛解維
持の実践
- No. 11 慢性膵炎—ガイドライン改訂に向けて
- No. 12 除菌後時代を迎えた胃癌診療
—残された課題を巡って
- No. 13 肝硬変診療の新時代

Vol. 36 (2021)

- No. 1 上部消化管腫瘍における先進的内視鏡治療の進歩
- No. 2 IBD診療のdecision making—専門医の選択
- No. 3 感染症と消化器—診断と治療：感染症専門医から
消化器内科医へのアドバイス
- No. 4 消化器診療と感染対策—COVID-19を中心に
- No. 5 機能性消化管疾患—診療 UPDATE
- No. 6 消化器内科医のためのIgG4関連疾患
- No. 7 〈最新〉NAFLD/NASH診療ガイドラインを読む
- No. 8 消化管がん検診・スクリーニングの手引き【増刊号】
- No. 9 胆道感染症の診断・治療
- No. 10 内視鏡検査で胃癌見落としゼロを目指して
- No. 11 胆管癌診療の現況
- No. 12 門脈圧亢進症に対する診療
- No. 13 肝不全・肝硬変に対する再生療法—最先端の今

Vol. 37(2022)

- No. 1 Cold polypectomy の課題
- No. 2 高齢者の消化器疾患—適切な診断法と治療法を目指して
- No. 3 非 B 非 C 型肝炎を繙く
- No. 4 進化する画像診断—下部消化管領域
- No. 5 胆石症の診療方針
- No. 6 内視鏡検査で大腸癌の見落としとゼロを目指して
- No. 7 Common disease となった潰瘍性大腸炎の現状と診療のコツ
- No. 8 ウイルス肝炎制御時代の肝発癌
- No. 9 食道疾患の診療【増刊号】
- No. 10 胆道ドレナージのすべて—適応・方法
- No. 11 外来で行う消化器がん薬物療法のコツ—専門医からのアドバイス
- No. 12 肝の超音波を知り尽くす—びまん性肝疾患の診断
- No. 13 肝の超音波を知り尽くす—肝腫瘍の診断と治療支援

Vol. 38(2023)

- No. 1 消化管内視鏡治療のリスク克服に向けて
- No. 2 膵癌の早期診断—診療ガイドラインの改訂を踏まえて
- No. 3 黄疸を極める
- No. 4 あなたの知らない IBD 診療の世界
- No. 5 消化管狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術
- No. 6 臨床に必要な消化管アレルギー疾患
- No. 7 肝疾患—診療のチェックポイント 2023【増刊号】
- No. 8 急性膵炎診療ガイドライン改訂と Pancreatitis bundles を読み解く
- No. 9 GERD 診療 Update 2023
- No. 10 ここまで進んだ肝硬変診療
- No. 11 消化管出血のマネジメントが変わっている？—最新情報と診療の実際
- No. 12 非乳頭部十二指腸腺腫・癌の診療方針
- No. 13 胆膵の画像・内視鏡診断の進歩—早期診断と正確な診断のために

Vol. 39(2024)

- No. 1 消化管内視鏡診療における鎮静
- No. 2 IBD 診療—ますます増えた薬剤の選択とさらなる進化の展望
- No. 3 サルコペニアと消化器疾患
- No. 4 内科医が知っておくべき、肛門疾患の基礎知識
- No. 5 肝細胞癌の集学的治療
- No. 6 大腸内視鏡治療—CP/EMR/ESD/Underwater 関連手技の今
- No. 7 脂肪肝の新概念：MASLD
- No. 8 これからの胃癌診療
- No. 9 消化器がん薬物療法【増刊号】
- No. 10 自己免疫性肝疾患と ICI(免疫チェックポイント阻害薬)による肝障害
- No. 11 急性胆嚢炎・胆管炎を再考する
- No. 12 小腸疾患に対する最新の内視鏡臨床
- No. 13 良悪性肝門部胆管狭窄への内視鏡的アプローチ

Vol. 40(2025)

- No. 1 上部消化管内視鏡を見直す—基本から応用まで
- No. 2 ここまで進んだ interventional EUS
- No. 3 慢性便秘症の診療のポイント
- No. 4 注目すべき高齢者の腹部救急疾患診療
- No. 5 膵・消化管神経内分泌腫瘍の診断と治療のアップデート
- No. 6 胆嚢ポリープ・筋筋腫症、胆嚢良性疾患の診断と治療
- No. 7 肝硬変—病態と診断の最新知見
- No. 8 膵疾患の診療【増刊号】
- No. 9 肝硬変—最新の治療
- No. 10 ヘリコバクター・ピロリ診療 update
- No. 11 腸内細菌研究の最前線—社会実装へ向けて
- No. 12 肝疾患治療の最新動向—新薬の情報とともに
- No. 13 咽頭・喉頭病変の内視鏡診断と治療